

やまぐち 市議会だより



地域をつなぎ 未来を築く新空間



定例会ピックアップ	2
議案の審議結果	5
委員会 ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

「暮らしを守り 未来を築く」予算

令和3年度 一般会計 **877**億3千万円

可決

3月 定例会

2021年
2/19~3/18

上程された議案

予算

24件

条例

14件

事件議決

11件

諮問

1件

議員提出

1件

委員会提出

1件

産業交流拠点施設整備事業などの大型建設事業が終了。

いよいよ、山口市産業交流拠点施設、産業交流スペース「Megriba（メグリバ）」を起点とする新たなまちづくりがスタートします。

7月には圏域7市町が一体となって、山口ゆめ回廊博覧会を開催し地域経済の活性化に向けた取組を加速させます。

また、アフターコロナを見据えたデジタル化の推進等、地方創生、市民生活の向上に向けた取組を推進します。



市報4月1日号で
令和3年度予算を
詳しくチェック！



KDDI 維新ホール・山口市産業交流拠点施設完成記念式典



内覧会の様子（メディフィットラボ）



開発が進むJR新山口駅北口

- 令和3年度は山口ゆめ回廊博覧会の本番として、山口県央連携都市圏域7市町が取り組む各種のイベントや交流事業が展開されるが、それぞれの事業において当初の目的が達成できるよう求める。
- 当初予算の財源構成が変わる場合、個の事業における考え方ではなく、市の財政全体の考え方が明確に示されるような資料について研究、提示され、議会対応に臨むよう求める。

- 産業交流拠点施設のオープンにより、新たに生み出される人の流れを山口都市核に誘引するための取組によって、オール山形の発展につながることを期待している。
- 財政の硬直化が懸念されているところであるが、固定資産税の増収を見込むなど、これまでのまちづくりの成果が現れてきており、財政健全化に向けた様々な取組を評価する。

議員から多角的な意見が活発に！

補正予算について

- 新型コロナウイルス感染症対策によるものであり、非常に重要なものだと考える。全ては市民の安全・安心のため、また失速した経済への対策に資するものであり評価する。

多世代交流・健康増進拠点施設の整備について

- 設置目的、経済効果など行政が取り組む十分な根拠を今後しっかりと示されることを期待している。
- 公共で整備した施設は収益性が二の次になりがちであり、公共の温浴施設が減少傾向にある中、現在のままの形で施設を整備することに反対意見もある。施設の収益性、継続性にも十分に配慮されるよう計画のブラッシュアップを要望する。

学校給食費運営事業の公会計化について

- 教職員の負担軽減が図られ、本来業務に邁進していかれるよう求める。

コミュニティタクシーの運行について

- 支援策の拡充は、収支の改善に苦勞されている地元組織にとって朗報である。これから導入されようとする地域はもちろんのこと、市内全域への周知と積極的な働きかけを求める。

国民健康保険特別会計予算について

- 被保険者の生活に影響が出ないよう、保険料率を据え置いた本市の努力に対し、高く評価する。

山口情報芸術センターYCAMの運営について

- 大変厳しい指摘が多くあり、まずは教育分野においてその存在意義を発揮し、市民に理解を得るよう求める。

感染症対策やデジタル化などに対応可能な 「新たな日常」の 構築をめざす!!

8つの重点プロジェクト

- ①魅力あふれる県都づくり「広域県央中核都市づくり」
- ②協働による「個性と安心の21地域づくり」
- ③将来を担う子どもたちを育む「教育・子育てなら山口」
- ④産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」
- ⑤山口の個性を高め暮らしを楽しむ
「文化・スポーツ・観光なら山口」

- ⑥生涯にわたって元気に暮らす「健康長寿のまち」
- ⑦安全安心で快適な住環境「安全安心のまち」
- ⑧心かよう「市民サービス向上」

市内消費喚起

飲食店等の感染拡大防止対策への支援

令和2年度現計【2億1,000万円】

「エール!やまぐち」プレミアム 共通商品券の発行支援(第2弾)

令和2年度補正【7億1,000万円】

安心快適住まいる助成事業

令和3年度当初【1億5,400万円】

など



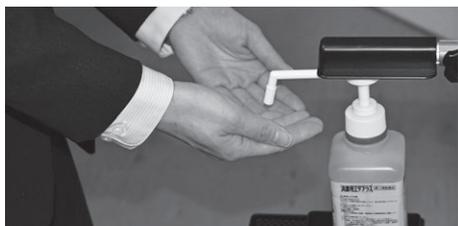
指摘・要望

- 経済対策に関しては、他の事業者への対象拡大と、事業者の規模や減収に応じた再度の支援が必要と考える。
- 市内経済対策をする場合、どの分野にどのような効果を見込んで消費の回復、下支えをしたのか全体フレームが必要であり、現状把握が大事ではないか。

感染拡大防止に向けた取組強化

令和3年度当初・令和2年度補正【2億860万円】

保育園 幼稚園 放課後児童クラブ
子育て支援施設 小・中学校 児童養護施設
災害時の避難所 市立図書館 その他公共施設
救急・救助活動 など



手指消毒のようす



指摘・要望

- 感染症対策として有効な施設修繕等の工事については、年度当初から積極的に執行し、予算不足には柔軟に対応するとの方針を示されたことを大いに評価する。

スマートシティの構築

スマートシティ推進ビジョンの策定・推進

令和3年度当初【3,000万円】

ICTを活用した教育の推進

令和3年度当初【1億5,727万円】

利便性の高い交通システムの構築

令和3年度当初【4,908万円】

スマート農業の推進

令和3年度当初【4,570万円】

など



小型モビリティ

スマート自治体の推進

スマート自治体推進事業

令和3年度当初【9,929万円】

母子健康アプリの導入

令和3年度当初【90万円】

など



指摘・要望

- 新たな日常に向けて、各部署の連携によりデジタル化を推進し、市民のだれもがデジタル化の恩恵を享受できる環境をつくってほしい。

感染拡大の防止

新型コロナウイルスワクチンの接種

令和2年度補正【12億6,430万円】

など



指摘・要望

- ワクチン接種については、市民に正確で分かりやすい情報発信に努め、関係機関との連携を十分に図り、円滑にワクチン接種を受けられる体制を整備されることを要望する。
- ワクチン接種を第一にした対策となっているが、検査数の拡大で市内感染を阻止していくことが大事ではないか。

南部エリア魅力発信事業
地域のいいところ
見つけて、生かす！

【118万円】



南部エリアのプロモーション動画
「ナンブエリアRAP」

南部地域情報。パンフレット「ヤマグチ南向き2」を1万部増刷し、魅力を発信します。また、新山口駅北口にできる産業交流スペース「Meggriba(メグリバ)」を拠点に、仕事をしながら非日常を体験できる南部地域版ワークショッププランの実証実験を通じてプロモーションを実施するとともに、移住情報サイト「すむ住む山口」内の南部地域の情報の拡充を図ります。

問 このパンフレットの配布先や有効な使い方について、どう考えているか？

答 市内全域のあらゆる施設に置くことはもとより、観光産業関係者や県内他市町の自治体にも配布し、南部地域の魅力を発信する。

要介護認定者等世帯への家庭ごみ

戸別収集 実証開始

要介護認定者や身体障害者手帳を持つ方等の世帯のうち、家庭ごみを集積場所に持ち出すことが難しい世帯に対し、戸別収集を行う実証が居宅介護支援事業所等と連携して始まります。



指摘・要望

- 支援が必要な世帯にとって大きな力となるものであり、高く評価する。収集作業の労力も増大することから、円滑に事業が行える体制を整えること。
- 今後も在宅で支援を必要とする世帯がふえることが予想される。今回の取組でデータの収集や検証を進め、次のステップに進められるよう、十分検討していただきたい。

いよいよ
7月から開催!

マイクロリズムの
推進による消費喚起

関連事業合計【7億628万円】

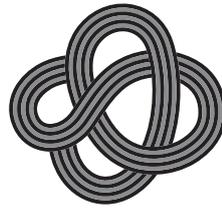
情報文化ゾーンで実施
する企画事業費の合計

【1億1,250万円】

大内文化まちづくり
推進事業

【1,196万円】

など



山口県中央連携都市圏域
山口ゆめ回廊
博覧会
YAMAGUCHI YUME KAIRO EXPO

本市では、山口情報芸術センターYCAM・中央公園とその周辺エリアを主会場とし、市内内の周遊を促すため、産業交流拠点施設をはじめ市内各地で多彩な企画・イベントを実施します。小郡、秋穂、阿知須、徳地、

阿東地域はもちろんのこと、市内各地域でイベントが企画されています。観光、経済、文化、定住などあらゆる分野で、博覧会の開催に合わせた取組を進めます。

指摘・要望

- 山口市のみでなく、全7市町が実施する事業全体の目標値や指標を明確に設定し、予算に見合う十分な成果をあげられたい。

コミュニティタクシー

運行促進事業
【4,404万円】

実証運行事業
【1,400万円】

持続可能な公共交通の構築を!

の構築を!

指摘・要望

- 積極的な働きかけにより、コミュニティ交通という市民の足が一層便利に拡充されるよう取り組まれたい。

市民・交通事業者・行政が一体となつて、市内各所で運行しているコミュニティタクシーですが、地域が導入するにあたっては運行の収支などがネックとなり、市内での広がり停滞していました。令和3年度からは、店舗や病院が遠方にあるなどの地域特性に配慮するとともに、地域において赤字が生じた場合も収支改善に取り組むことを条件に、3年間は市が欠損について補てんするよう制度を見直しました。

骨髄等提供者への支援

善意をあと押し!

本市が、国に先駆けて、骨髄等のドナー提供にかかる通院・入院・面談等の日数に応じて、1日あたり2万円最大7日間を助成する制度をつくりました。

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和3年度山口市介護保険特別会計予算
- 令和3年度山口市介護サービス事業特別会計予算
- 令和3年度山口市駐車場事業特別会計予算
- 令和3年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計予算
- 令和3年度山口市地域下水道事業特別会計予算
- 令和3年度山口市国民宿舎特別会計予算
- 令和3年度山口市特別林野特別会計予算
- 令和3年度山口市水道事業会計予算
- 令和3年度山口市簡易水道事業会計予算
- 令和3年度山口市公共下水道事業会計予算
- 令和3年度山口市農業集落排水事業会計予算
- 令和3年度山口市漁業集落排水事業会計予算
- 令和2年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和2年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度山口市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和2年度山口市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市国民宿舎特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度山口市簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第15号）

条 例

- 住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例
- 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 山口市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市学校給食費条例
- 山口市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市南部運動広場設置及び管理条例の一部を改正する条例
- やまぐちリフレッシュパーク設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市老人憩の家設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 山口市介護保険条例の一部を改正する条例
- 山口市産業交流拠点施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市火災予防条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び山口県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに規約の変更に関する協議について
- 山口市過疎地域自立促進計画の変更について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- はばたき学級の指定管理者の指定について
- 山口市老人憩の家寿泉荘の指定管理者の指定について
- 山口市老人憩の家嘉泉荘の指定管理者の指定について
- 山口市老人憩の家潮寿荘の指定管理者の指定について
- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第12号）に関する専決処分について
- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第13号）に関する専決処分について
- 公平委員会の委員の選任について
安光真裕美氏（新任）

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について
石村太郎氏（再任）

議 員 提 出

- 山口市議会議員定数条例

委 員 会 提 出

- 山口市議会会議規則の一部を改正する規則

慎重な
審議の結果、
今定例会では
52議案を
可決しました。



賛否が分かれた議案と審議結果

（○は賛成、×は反対、△は賛否が分かれたもの）

議 案		審 議 結 果	自 由 民 主 党 山 口	県 都 創 生 山 口	公 明 党	心 を と 共 創 や ま ぐ ち	高 志 会	日 本 共 産 党	市 民 ク ラ ブ	地 域 党 や ま ぐ ち S 風
予 算	令和3年度山口市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和3年度山口市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和3年度山口市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和2年度山口市一般会計補正予算（第14号）	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
条 例	山口市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「経済建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



消防・救助現場でのデジタル技術の活用は

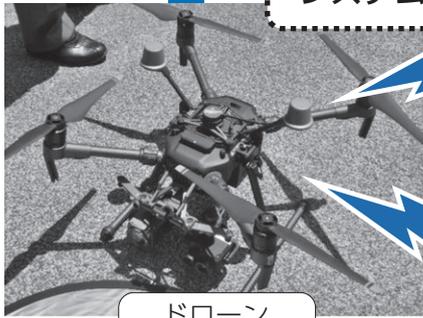
総務委員会



災害発生!

近年、頻発している広域的な土砂災害や水害等への対応として、デジタル技術を活用し、救助活動の高度化を進めている。
令和3年度は、無人航空機（ドローン）を配備することとしている。現場映像をリアルタイムで共有できる現場中継システムとの連携により、要救助者の迅速な救出につなげる。
(担当部局：消防本部)

現場中継システム



ドローン

災害対策本部



現場指揮本部



母子健康アプリの機能は

教育民生委員会

母子健康手帳を補完するスマートフォンアプリを導入し、適齢期に応じた必要な子育て情報を配信する。アプリを使って子どもの予防接種のスケジュールが管理できるなど、子育て世代の負担軽減につなげる。
導入に当たっては、県において開発される子育て支援システムとの連携も考慮してアプリを選定する。
(担当部局：こども未来部)

委員の意見

妊娠から出産、子育ての各段階において、不安や悩みの解決へのヒントが得られたり、行政へ助けを求められる仕組みなど、今後の機能拡充に期待したい。



ICT機器を活用した教育推進の取組は

教育民生委員会

令和2年度中に、児童生徒1人につき1台の教育用コンピュータ端末が行きわたることから、情報教育支援アドバイザーの新規配置やAIDリルの教材の拡充、情報教育支援員の増員など、ICT機器を活用した学習活動の充実強化に取り組む。
また、各学校と保護者双方の負担を軽減するための連絡手段のデジタル化の構築に向けた実証事業や、就学援助世帯に対して通信環境の整備や通信費の支援を行う。
(担当部局：教育委員会)



タブレット端末を使った授業風景

委員の意見

学校と家庭の連絡手段の構築が図られた際には、保護者の方に対してきめ細やかな対応をお願いする。



若者のUJリーターンを促す 特段の取組は

引き続き、県とも連携して、積極的に若者UJリーターン希望者を採用しようとする市内事業者を支援していく。

また、事業者には、コロナ禍で対面による採用面接や、東京圏での就職説明会を行うことができないという悩みがあるオンライン面接ツールの導入や、民間の就職情報サイトの利用に係る経費の補助などの支援を積極的に行っていく。

(担当部局：経済産業部)



経済建設
委員会



コロナ禍の国際交流は 市内での活動をメインに

コロナ禍で、当面の間は海外での交流活動や海外からの受入れ事業を行うことは、なかなか難しい。

令和3年度は、助成事業を再構築し、市内での市民と外国人市民との交流や、おもてなし活動など市民主体の活動の支援に積極的に取り組んでいく。

新たな助成事業については、市民へ積極的に公募し、たくさんの方の事業提案をいただければ、予算枠の拡充も検討したい。

(担当部局：交流創造部)

市内での国際交流 活動を支援します

詳しくは
市国際交流課へ
083-934-2725

【公募】のご案内は
市ウェブサイトへ



経済建設
委員会



地域の魅力を満載 『やまぐち21地域巡りガイドブック』

山口ゆめ回廊博覧会での21地域の回遊促進に向け、各地域の地域資源を紹介するガイドブックをつくり、市内の道の駅、地域交流セ



仁保の巨岩・重石



徳地やまのいも

ンター、観光案内所等で配布する。市外の道の駅等へも置いてもらい、やまぐち21地域の資源を広く知らせたい。

(担当部局：地域生活部)

委員の意見

近隣市の方からも各地域の情報が欲しいという声もあるので、市外でも積極的に配布してもらいたい。

生活環境
委員会



『地域の未来づくり促進特別交付金』 積極的にPRを

各地域において、地域振興、地域福祉、安全安心などの各分野で地域が主体的に活用できる『地域づくり交付金』に加え、関係人口の創出・拡大につながる取組などに対する特別交付金制度を新たに創設する。

協働推進課の地域づくり支援担当、各地域交流センターの地域担当も随時サポートしながら、各地域づくり協議会から、子ども会やPTA、青少年健全育成連絡協議会といった団体の代表へPRしていただき、柔軟に活用してもらえるよう支援していく。

(担当部局：地域生活部)

生活環境
委員会

市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市



★議員が何を質問したか、読んでみましょう!

★質問と答弁の映像は、各議員の二次元コード  からも見られます。

※必要な場合には、二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。

★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて50分です。

予算 令和3年度当初予算と今後の市政運営について

「暮らしを守り、未来を築く」予算と位置づけ、一般会計当初予算877億3千万円を計上し、令和2年度補正予算と一体的な15か月予算を編成した。新型コロナウイルスの感染拡大防止や市内消費喚起、新しい生活様式の定着に向けた取組を始め、スマートシティの構築やスマート自治体の取組とともに、産業交流拠点施設の供用開始などを原動力として、本市全体の発展を実現していく。また、今後も、オール山口市の発展に向けた取組を継続的に進めることが重要と考える。現時点においては、市民の健康と命を守り、雇用と暮らしを守り抜くため、一意専心で取り組まなければならないと考えられている。



問 令和3年度当初予算の重点的な取組と、市長の今後の市政運営について伺う。

答 「暮らしを守り、未来を築く」予算と位置づけ、一般会計当初予算877億3千万円を計上し、令和2年度補正予算と一体的な15か月予算を編成した。新型コロナウイルスの感染拡大防止や市内消費喚起、新しい生活様式の定着に向けた取組を始め、スマートシティの構築やスマート自治体の取組とともに、産業交流拠点施設の供用開始などを原動力として、本市全体の発展を実現していく。また、今後も、オール山口市の発展に向けた取組を継続的に進めることが重要と考える。現時点においては、市民の健康と命を守り、雇用と暮らしを守り抜くため、一意専心で取り組まなければならないと考えられている。



自由民主党山口
藏成 幹也

くらなり みきや



都市 山口市産業交流拠点施設開館とその将来ビジョン

●その他の質問
○(仮称)山口市都市核づくりビジョン(素案)

問 4月開館の拠点施設はどのような価値を生み、新山口駅周辺と本市の発展にどのように結びつくのか、将来ビジョンと併せて伺う。

答 施設の各機能の連携で新たなビジネスを創出し、コンサート等の開催による経済効果で新たな人の流れをつくり、その効果を市全体に波及させる。将来のまちの活力を高めるため、拠点施設を起点に地元企業を巻き込み、5Gを活用したウェブ人材の育成など、新産業を生み出すための資源を活用した取組を積極的展開していく。



4月オープン of 山口市産業交流拠点施設



県都創生山口
中島 裕一

なかしま ゆういち



教育 水道の蛇口は「自動水栓」に!

問 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、学校の水道の蛇口はレバー式や非接触型の自動水栓が望ましいと考えますが、取組を伺う。

答 長寿命化改修工事やトイレの洋式化改修工事、水道の修繕の際などに、レバー式や自動水栓に取り替える。



子ども 小・中学生の医療費自己負担分の全面無料化!

問 このたび中学生の父母の所得制限撤廃に踏み切る決断の理由、制度の維持に向けた財源確保と決意を伺う。

答 子どもが適切な時期に適切な医療を受けられるよう支援することで健康保持が図られ、将来にわたる医療費全体の抑制につながると認識する。安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指し、制度の継続実施にしっかりと取り組む。



公明党
其原 義信
そのはら よしのぶ



協働 協働による“魅力ある地域づくり”の今後

問 渡辺市政で協働によるまちづくりの政策を押し進めた狙いと効果、今後の地域自治に向けた支援策を伺う。

答 平成21年に協働のまちづくり条例を施行し、地域づくり協議会を中心として、それぞれの特性に応じた住民主体の地域づくりを展開されてきた。令和3年度は、地域と多様に関わる関係人口を担い手として巻き込むため、地域にとつて自由度の高い特別交付金を創設する。また、地域交流センター窓口における本庁職員とのオンライン相談機能など、質の高い行政サービスができる仕組みづくりを進める。行政と地域の皆さんとが、共に話し、共に汗をかき続ける事で、多様化する地域課題に柔軟に対応していく。

※関係人口

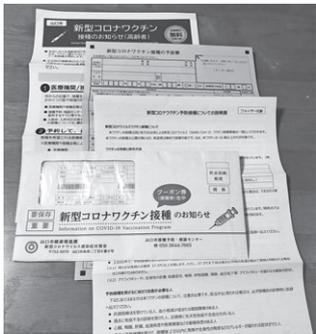
「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない他地域に生活拠点がかりながら、様々な形で継続的に地域や地域の人々と関わる人々。



ふるさと共創やまぐち
富田 正朗
とみた まさろう



医療 新型コロナウイルスワクチン接種について



対象者に送付される接種券(クーポン券)等

問 本市における実施体制について伺う。

答 国は、4月12日に高齢者向け接種を開始する予定とされた。本市では、身近な地域で気軽に相談や予約が可能となる、かかりつけ医による個別接種を中心とし、地域特性に応じて補完的に集団接種会場の設置を検討している。なお、徳地地域においては集団接種会場を1か所開設することとしている。3月下旬以降、ワクチン接種を無料で受けられる接種券やワクチン接種を受けた証明となる予防接種済証の台紙がセットになったクーポン券、予診票、接種までの手順等の案内文書を同封した封筒を送付する。



高志会
伊藤 青波
いとう しょうは



医療 令和3年度当初予算とコロナ対策

- 自治会経由のチラシ配布
- ジェンダー平等
- その他の質問

問 市はPCR検査拡大を求める市民団体に対し、第一にワクチン接種と答えている。市予算は国や県に追いついてポストコロナ偏重予算になっている。ワクチンに全面的に頼る対策は無責任だ。感染者数が減っている今こそ高齢者施設・医療機関など定期的な社会的検査を実施し、医療を守り、ケアが必要な家族がいる市民を守り、早期の経済回復へ進むべきだ。




日本共産党
尾上 頼子
おのうえ よりこ



財政 コロナ禍における予算編成の考え方



○中山間地域の振興
●その他の質問

市税や地方交付税の減、臨時財政対策債の増を見込む歳入予算の考え方や見通しを伺う。また、飲食店関連事業者以外でコロナ禍の影響を受ける中小事業者にも配慮した予算となっているか。

問 令和3年度における市税と地方交付税、臨時財政対策債の予算総額の対前年度比は、国の地方財政計画の歳入の伸び率と整合しており、財政状況は厳しいが、適正な範囲での予算編成ができた。

答 また、新しい生活様式への対応支援、安心快適住まいの助成事業や、令和2年度補正予算による共通商品券の発行支援など、様々な業種に効果が行きわたるような消費喚起対策の取組に要する経費を計上している。

市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお

国際 市内在住の外国人市民との多文化共生社会づくり

第二次山口市国際化推進ビジョン(案)の柱である国際交流と多文化共生の推進の取組について伺う。

問 本市の外国人市民は在留資格別で技能実習の増加が顕著であり、民間事業者における外国人材の活用が進展し、技能実習や留学を目的に3～5年で帰国される特徴がある。令和3年度は、外国人市民が増加傾向にある南部地域を中心にモデル地区を設定し、交流イベントを実施するなど、地域における外国人市民の活躍の機会をつくる。また、担い手講座等を開催し、外国人市民と日本人市民とをつなぐ人材の確保と育成に努める。関係する市民団体、経済団体等による(仮称)国際化推進懇話会を随時開催し、官民連携の下、課題に柔軟かつ迅速に対応していきたい。

答 本市の外国人市民は在留資格別で技能実習の増加が顕著であり、民間事業者における外国人材の活用が進展し、技能実習や留学を目的に3～5年で帰国される特徴がある。令和3年度は、外国人市民が増加傾向にある南部地域を中心にモデル地区を設定し、交流イベントを実施するなど、地域における外国人市民の活躍の機会をつくる。また、担い手講座等を開催し、外国人市民と日本人市民とをつなぐ人材の確保と育成に努める。関係する市民団体、経済団体等による(仮称)国際化推進懇話会を随時開催し、官民連携の下、課題に柔軟かつ迅速に対応していきたい。

問 第二次山口市国際化推進ビジョン(案)の柱である国際交流と多文化共生の推進の取組について伺う。

県都創生山口
山本 貴広

やまもと たかひろ

防災 県・市が連携した災害対策の推進

問 農業試験場跡地に係る県との協議状況と雨水排水について市の考えを伺う。



災害が懸念される山林開発(イメージ)

答 現在策定中の山口市国土強靱化地域計画において、森林の適正な管理の推進を位置づけることとしている。また、森林の有する多面的機能が失われないよう、県等と連携し、林地開発に起因する災害が生じないよう努める。

問 市内の中山間地などで見られる山林開発について市の考えを聞く。

公明党
山本 敏昭

やまもと としあき

環境 新事態に勇気をもって挑戦する気概を!



受賞は市民にとって元気づけとなる

問 2025年、団塊の世代800万人が75歳を迎えることから、大変喜ばれている本事業の継続を求める。

健康 やまぐち元氣いきいき大賞の表彰事業の継続を

問 輸入した化石燃料で発電した電力を買うのではなく、市として地域の再生可能エネルギー資源を活用し、電力供給を行う地域新電力会社の設立を検討すべきと考ええる。

答 脱炭素社会の実現に向けて、電力の地産地消を進める上で有効な手段の一つと考えている。引き続き情報収集、調査研究を進めたい。

高志会
氏永 東光

うじなが とうこう

生活 飲食店や観光・旅行業者等への継続的経済支援



自由民主党山口
湊 和久

みなと かずひさ



問 コロナ禍の下で市内に約900店舗ある飲食店や観光旅行者及び、その関連事業者等は長期にわたり困窮し、刻一刻と深刻な状況となっている。大きな産業のない本市にとって、こうした事業者への継続的な支援は大変重要であり、喫緊の課題と考えるが、今後の市の対策と支援について伺う。

答 令和2年度は売上が大幅に減少した飲食店や観光誘客イベント開催事業等に対し支援金の給付等を行ってきた。今後、消費者が安全安心に外食が出来る環境を整え、国のGOTOトラベル事業や県のプレミアム宿泊券などと連動したプレミアム商品券等による消費喚起の取組など、さらなる経済対策を検討していく。

●その他の質問
○デジタル・トランスフォーメーションの推進について

※支援金

市独自の支援策として事業継続と感染症対策強化のための「山口市飲食店等感染防止対策強化支援金」を給付した。

協働 やまぐち南部振興メンバーシップの牽引を!!



ふるさと共創やまぐち

中野 光昭

なかの てるあき



問 小郡地域ふるさとにぎわい計画において、シビックプライドを醸成しつつ産業交流拠点施設や周辺一帯を活用しながら、どのように小郡都市核の発展を牽引する地域づくりを目指していくのか。

答 南部地域連絡協議会の意見交換を活発化させる。また、小郡がつながる・つなげる取組にて小郡、南部地域の魅力発信イベントを行う。さらに、有志が必要性を検討しているコミュニティスペースの確保など、交流を促す支援を検討するほか、地域の特色の学びを継続的に行い、アカデミーハウスなど新たな住民も含め、地域活動に積極的に参加する人材を育成し、シビックプライドの醸成を図る。



新山口イルミを見入る若者

介護 地域包括支援センターの運営体制の強化!



高志会

伊藤 育

いとう ひとし



問 地域包括ケアシステムの充実に向けた、地域包括支援センターの体制強化について伺う。

答 新たな担当地域については、各地域包括支援センターの担当する高齢者人口が可能な限り平準化されるよう、北東部においては、小鯖・大内を現在の北東地域包括支援センター、仁保・宮野を新たな地域包括支援センターが担当する。川西地域においては、小郡を現在の川西地域包括支援センター、嘉川・佐山・阿知須を新たな地域包括支援センターが担当する。また、地域包括支援センターの設置場所は立地等を踏まえ、その担当地域内に設置する。令和4年1月から3月には利用者の支援方法等の引継ぎを行い、令和4年4月の運営開始を予定している。



子育て 子育て支援



自由民主党山口

泉 裕樹

いずみ ひろき



問 妊婦健康診査項目の超音波検査の回数の増加や等追加について伺う。またメンタル面のケアが、至急必要なケースがあるが、心療内科等の専門医療機関の受診まで2、3か月待ちの状態であり、どのように対応されるか。

答 妊婦健康診査は、厚生労働省の基準に基づき、自治体の実施回数等を判断している。今後、産科医療現場の声を聞き、研究する。診療内科への橋渡しとして、令和3年度から公認心理士による面談を新たに実施する。

●その他の質問
○避難行動要支援者について



やまぐち母子健康サポートセンター
相談受付
Tel 090 - 6840 - 8585

観光 ぜひ!成功させよう!山口ゆめ回廊博覧会!

組む。観覧会の成功に向けて取り組む。



今後の展望としては、観光業をはじめとする地域経済の未来への希望につながることで、役割の一つに加わったと認識しており、活力あふれる圏域づくりを実感できる博覧会の成功に向けて取り組む。

問 博覧会開催を7月に控え、コロナ禍により地域経済が落ち込む中で、人の流れを呼び戻し、回復軌道に乗せる大変重要な施策として取り組むとしているが、参加促進や今後の展望について伺う。

答 人の移動が制限されたことから誘客のターゲットをまずは身近な圏域7市町の住民と設定し、状況をみながら順次拡大していく。プレ事業で実施したマイクローリズム志向に適した事業展開に圏域内交流の効果を感じており、博覧会本番ではさらに内容を充実する。



ふるさと共創やまぐち
植野 伸一
うえの しんいち



行政 阿東地域の市道路線の除雪対応を素早く



建設重機による除雪作業の様子

研究等を検討したい。

問 阿東地域は積雪寒冷特別地域に指定され、冬季の除雪は必要不可欠である。1月7日からの寒波で、気温が氷点下9.8度、徳佐の山地で70cmの積雪があった。これに対応する除雪車の故障等で遅れが生じたが、除雪準備体制と今後の改善、対応を伺う。

答 阿東の市道延長21.4kmの除雪計画では、9台の市所有車、地域業者との委託契約による8台の建設重機を配置しているが、想定以上の負荷でトラブルが発生し、対応に追われた。新年度には作業講習の実施、緊急時の協力業者の追加と市職員の応援体制の充実、人工衛星活用の研究等を検討したい。



日本共産党
西村 芳和
にしむら よしかず



教育 山口情報芸術センターYCAMと教育の連携を!



議論と身体実践を繰り返してスポーツをつくる

育む。育祭では体

問 YCAMはこれまで未来の山口の授業等の教育プログラムを考案しノウハウを有している。教職員向けプログラムを開発し情報教育推進役となる教職員の情報活用能力を高め児童生徒の学びに反映させていくほか、小・中学校でモデル校を選定し、小学校ではYCAMからメディア活用助言を行い、地域の魅力再発見に取り組む。中学校では体

答 YCAMはこれまで未来の山口の授業等の教育プログラムを考案しノウハウを有している。教職員向けプログラムを開発し情報教育推進役となる教職員の情報活用能力を高め児童生徒の学びに反映させていくほか、小・中学校でモデル校を選定し、小学校ではYCAMからメディア活用助言を行い、地域の魅力再発見に取り組む。中学校



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎
たけなか いちろう



行政 市民が便利だと実感できるデジタル化推進

○市民会館等の利活用

○新型コロナウイルス感染症に係る市内事業者への支援

○介護人材の確保

●その他の質問

○押印業務付けを廃止した。

し、新たに約1,500件の

員として迎え入れた。押印の

廃止については、基準を見直

した新たな推進本部を設置

予定である。

昨年4月には

民間からデジ

タル人材を職

員として迎え

入れた。押印

の廃止につい

ては、基準を

見直し、新た

に約1,500件

の押印業務

付けを廃止

した。



問 政府はデジタル庁の設置に向けて動いているが、本市はどう対応するのか。専門人材の民間からの登用が必要になるが、どのように考えているか。可能な限り形式的な押印を廃止すべきと考えるが、どのように取り組むか。

答 デジタル化の推進による市民の利便性向上を目指し、情報企画課をデジタル推進課に改組し、加えて、副市長をトップとした新たな推進本部を設置予定である。



ふるさと共創やまぐち
宮川 英之
みやかわ ひでゆき



行政 “行政が”市民温泉を湯田につくる理由を問う

問 健康・観光・交流と目的が多すぎて何の施設なのか分からない。

答 市民の意見も聞き、温浴健康機能、交流機能、附帯機能の3つに整理した。

問 銭湯は斜陽産業と考える。お客が来ず、維持費が払えず継続ができないのでは。

答 入場料等の収入で運用を行う収益施設ではない。

問 近隣の狐の足あとにも多用スペースがある。文化体験スペースは必要か。

答 年間を通じ様々な活用が可能になると考えている。

問 YCAMの飲食施設にテナントが入らず失敗した経験はどう生かすのか。キッチンカーなどで代用すべき。

答 カフェ機能などの設置を望まれる声が多い。臨時的な出店については、

今後も必要な検討を行いたい。




市民クラブ
部谷 翔大

へや しょうた



定住 小郡都市核を活用した南部エリア魅力発信事業

問 令和3年度における取組は。

答 情報冊子「南向き2」を増刷し、移住情報サイト「すむ住む山口」に南部9地域ごとのページを設ける。また、

産業交流拠点施設の産業交流スペース「メグリバ」を活用し、ライターが南部地域で滞在した体験や取材を紹介するワーケーションを活用したパブリシティの実証実験を行う。



地域のお薦めが詰まった「ヤマグチ南向き2」

行政 地籍調査事業の現状と課題、今後の取組は

問 事業推進のための予算確保の取組は。

答 要調査面積に対する進捗率は22%である。予算拡

充に向けて引き続き国に要望し計画的、効率的に取り組む。



県都創生山口
野村 幹男

のむら みきお



教育 “金融の教育”で市民のお金を守って増やせ!

問 老後資金2千万円の金融庁報告問題も記憶に新しいが、60歳の3人に1人が貯蓄額3百万円未満という調査結果もあり、今後、老後の経済問題はますます深刻化していく。手取り収入が減り、預貯金金利が低い中、投資などによる資産形成が必要である。詐欺などへの啓発だけでなく、無関心層へのアプローチや体系的な金融教育体制の整備が必要と考えるがいかがか。

答 金融業界団体等の専門家を講師に招き、地域で開催した講座での参加者の意見も参考にし、本市の金融教育の在り方について研究したい。

問 教育現場において、実生活につながる積極的な金融リテラシー教育の導入を。

答 消費者教育を中心とする学習指導要領も踏まえ、国・県等の動向を注視したい。




市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



生活 市内事業者の規模や減収率に応じた再給付を

問 経済対策第8弾のうち、市独自の事業者支援として飲食関連事業者への再給付については、12月議会に要望したこともあり評価するが、単発で終わってはいけない。再給付の後、幅広い事業者を対象に、規模や減収率などに応じた再々度の給付の提案をするがいかがか。

答 社会経済の好転の兆しがあり、現段階で個別の事業者の規模や売上げ減収率に応じた再給付よりも、新しい生活様式の導入支援やプレミアム付商品券などで市内経済を動かすことが、幅広い業種の事業継続に効果的と考える。

●その他の質問

○「サービス業・商工業の多様な雇用の場づくり」

・安心快適住まいる助成事業
○多世代交流・健康増進拠点施設について




日本共産党
大田 たける

おおた たける



環境 住民負担の軽減、住民サービスの向上を目指して

問 山口市の実施する環境関連事業については、市民利益の面から考えるならば、最終的に住民負担の軽減が、住民サービスの向上のいづれかにつながる必要があると考えます。今後の施策展開を問う。

答 山口市における施策展開画において、環境保全意識の啓発、地球温暖化対策の推進、リサイクルの推進など、8つの基本事業を設定し、各種事業を推進している。

今後も住民負担の軽減、住民サービスの向上、あるいは費用対効果といったようなことも十分踏まえ、環境の保全と創造に関する施策を総合的に推進し、社会経済と環境の持続的な関係の構築に、山口市の豊かさを発展させることを目指していく。



公明党
村上 満典

むらかみ みつひろ

環境 自治会ごみ集積所の維持管理について!

問 ごみ集積所の維持管理は、自治会加入率の低下や構成員の高齢化に伴い運営に支障が出てきている。外部委託や戸別収集への転換等の検討も含めた打開策を伺う。

答 自治会からの相談に丁寧に対応し、集積所の移動や統合、分散により負担が軽減できる場合には設置基準の運用について柔軟な対応をする。また、基準の見直しも検討していく。違反ごみの対応については、排出状況を市職員と一緒に確認して対策を協議していくなど対応する。

集積所の維持管理は大きな課題になると認識しており、関係部局と連携して必要な対策を講じながら研究していく。

●その他の質問

- アフターコロナを見据えた交流事業の展開
- スマート自治体の加速化



自由民主党山口
馬越 帝介

まごし たいすけ

スポーツ 小郡運動公園のトイレをユニバーサルデザインに!



小郡運動公園のトイレ

問 公園やスポーツ施設等のトイレについては、時代の要請にあつておらず利用しづらいものが多いと感じる。例えば、小郡運動公園は、年間3万人近い利用者があるがトイレが手狭で老朽化している。早急に、ユニバーサルデザインに配慮したトイレに改修する必要があると考えますが、今後の対応について伺う。

答 誰もが安心して快適に施設を利用していただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮したトイレ等の施設の改修整備が必要であることを認識している。小郡運動公園のトイレを含め、本市全体の状況を勘案しながら、財源対策等を踏まえ検討する。

公明党
桜森 順一

さくらもり じゅんいち

行政 (仮称) 徳地診療所設置は“^{かがみ}地方行政の鑑”

問 平成11年には八坂地区に2つ、島地地区に1つ、掘地区に2つあった医療機関がとうとう1つになり、徳地地域における診療所の設置は、住民にとって長年の課題であり、最も重要な問題であった。このたびの市立診療所の整備の予算化は一番の朗報である。今後の市の展望を伺う。

答 徳地地域複合型拠点施設については、総合支所・地域交流センター・保健センター・消防車庫を整備し、これに診療所機能が加わると、教育や医療、買い物などの日常生活機能が享受できる地域拠点となり、地域住民の皆様に対して、にぎわいを生み出すものになることを考える。



地域住民が待ち望む施設ができる

自由民主党山口
田中 勇

たなか いさむ

議会からのお知らせ

議会改革を進めています ～わかりやすく開かれた議会に～

このたびの議会では、本会議で議員が質問する際、テレビ画面に表示される「質問のテーマ」の表示にあわせて、画面右上に「会派名・議員名」を追加しました。さらに、執行部の答弁の際に表示されている「役職・氏名」に続き、画面下に「質問のテーマ」を表示するようにしました。

また、これまでわかりやすい質問となるよう、根拠となる資料や写真のフリップを活用してきました。このたびは試験的に、フリップの代わりにタブレット端末をモニターと接続し、そのモニターをケーブルテレビに投影することを試みました。

視聴者からは、「言葉だけではなく、説明しようとするポイントが拡大されたり、丸印や線が引かれたりしてわかりやすかった」などご意見が寄せられています。

このたびの試行で、良い点や課題も見えてきました。今後、本格運用に向けて協議を進めていきます。



質問時は質問者名とテーマを表示し、答弁時にも質問のテーマが分かるようにしました。

事業名	経費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
国民健康保険事業	1,191,892	171,875	558,111		89,172	372,734
	-3,040	-1,451	-5,443		7,117	-3,263
介護保険事業	2,685,974	101,636	50,818		489,100	2,044,420
	-207,471	-11,195	-5,597		1,091	-191,770
社会保険 健康高齢者介護保険事業	2,804,513		454,143		453,743	1,896,627
	-16,566		19,957		26,159	-62,682
年金事業	7,152	7,152				
	682	682				
小計	6,689,531	280,663	1,063,072	0	1,032,015	4,313,781
	-226,395	-11,964	8,917	0	34,367	-257,715

※各項目の下端は対前年度増減額



市議会の非常時対応指針を策定

非常時（地震や台風などの災害や感染症の流行、またはその恐れがある場合など）においても、議会の機能を停止することなく議会を運営し、被害の拡大防止や被災者支援、災害の早期復旧等に向けて活動するため、議会や議員の対応を明確にする「非常時対応指針」を策定しました。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

市議会HP（対応指針）



請願・陳情書への押印が不要になりました

地域の身近な問題や市政に関することなどについて、市民の皆様のご意見やご要望などを市議会に提案できる制度として「請願」や「陳情」等があります。このたび、山口市議会会議規則を改正し、請願書・陳情書の提出時に必要になる「署名・押印」を「署名または記名・押印」に改めました。



女性をはじめとする多様な人材が市議会へ参画できる環境づくり

女性をはじめ多様な人材の市議会への参画の促進を図る観点から、本会議や委員会の欠席事由として、すでに規定していた「疾病、育児、看護、介護」に加え、「配偶者の出産補助」についても認め、出産については、母体の健康維持・回復に必要な期間として、産前6週、産後8週を範囲とすることを山口市議会会議規則に明記しました。

女性議員が安心して出産し、産後の健康を母子ともに保持できるよう環境を整備しました。



日本の女性議員の数は、先進国の中でも最低水準です。特に市町村議会の女性議員の比率は、全国平均でも12%台と低くなっています。

議会改革検討協議会（第3～4回 答申）

議員定数について、議会改革フォーラムなどを通じ、市民からいただいたご意見等も踏まえ、34人が適当であると答申を行いました。3月18日の本会議最終日には、議員定数を34人とする「山口市議会議員定数条例」が提案され、全会一致で可決されました。

また、政務活動費について、広報紙を発行した場合の費用に関する項目について協議し、答申しました。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

市議会HP（改革答申）



会派等の異動がありました（1月13日付）

会派等結成／地域政党 やまぐちの風
竹中一郎議員
旧山口維新の会は解散

議会の主な動き



1月

- 5日 市議会だより等編集委員会
- 12日 会派代表者会議
- 15日 第20回議会改革検討協議会、市議会だより等編集委員会
- 29日 第21回議会改革検討協議会



市内産和牛の増頭支援が市内全域に拡大

2月

- 12日 議会運営委員会、会派代表者会議、執行部説明会、広報広聴委員会
- 19日 第1回定例会初日(～3月18日最終日)
- 22日 議会運営委員会



山口市美術展覧会表彰式(3月7日)

3月

- 1日 市議会だより等編集委員会
- 4日 議会運営委員会、第22回議会改革検討協議会
- 16日 第23回議会改革検討協議会
- 18日 議会運営委員会、市議会だより等編集委員会、会派代表者会議



徳地「南大門」が新しくなりました(3月26日)

編集後記

早々に桜も散り、早くも新緑の季節となりました。年度頭初からあわただしい毎日が続き、あと3人自分がいれば、ゆった～り毎日が過ごせるのに、と思いつながらとりあえずファイト!!(義正)

新年度を迎え、各種の事業が進むことになります。継続事業はもちろん、新規事業もスムーズに進むように議会においてもしっかりチェック機能を果たし、市民利益につながるよう努力してまいります。(敏昭)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…5/26(水)まで 請願の受付…6/2(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
6/6	7	8	9	10	11	12
	本会議(初日) 10:00～					
13	14	15	16	17	18	19
	本会議一般質問・質疑 10:00～	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算委員会		
20	21	22	23	24	25	26
	教育民生委員会 10:00～	総務委員会 10:00～		予算決算委員会 10:00～		
27	28	29	30	7/1	2	3
	本会議(最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

● 山口市議会ホームページ
<http://www.yamaguchi-gikai.jp>

● インターネット録画中継
<http://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

4月1日、山口県の陸の玄関口、新山口駅北口に新たな交流と賑わいの拠点としてオープンした山口市産業交流拠点施設です。約2千人収容可能なKDDI 維新ホールは最新の音響システムを有し、大小様々な規模の学会や大会、イベント、コンサートなどに対応しています。

市議会だより等編集委員会

委員長 倉重 浩 副委員長 大田たける
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・伊藤青波
野村雄太郎

次号は8月です